

ドイツ連邦食料・農業省 農林漁業最新情報
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft
NO 6
2021・6・22

1 閣議決定：「健全な栄養とより多くの運動を（IN FORM）」国内行動プラン
ー3つの特別な人生段階に応じた健康と運動に焦点をー (2021・6・9)

連邦食料・農業省ユーリア クレックナー大臣と連邦保健省イエン シュパーン大臣が、共同で提案した IN FORM の分野における国内行動プランが閣議決定された。これは栄養失調、運動不足そして肥りすぎの予防対策である。

クレックナー大臣：”我々の目的は、消費者が可能な限り簡単にできること。つまり、健全な食事を摂ることである。同時に我々はより多くの運動を動機づけたい。我々はこのことを、多くの政策でもって支援する。例えば行動プランの分野において。同時に我々は栄養に関連した病気を、減らすことに貢献を果たす。そのことによって、子供達が健康に成長することができる。成人は健康に生き、そして全ての人々が質的に高度な生活から恩恵を受ける。”

IN FORM 国内行動プランのさらなる発展の要点

3つの特別な人生段階に焦点を

IN FORM の焦点は、(1) 人生最初の 1000 日 (2) 子供時代の特別なニーズ (3) 高齢者の特別なニーズ にあてている。なぜならば、既に妊娠中に、そして最初の 1 年間に健康な成長のために、方向づけられている。高齢者は、健全な栄養と運動が自ら定めた人生において、可能な限り良好な健康に決定的な貢献を果たす。

DGE（ドイツ栄養協会）一品質基準実施を義務付け

健康で持続的な栄養と運動の環境を創り出すことに、特別な焦点をあてている。特に栄養の分野において、IN FORM の分野で開発された保育園ー学校給食の DGE 一品質基準を、ドイツ全域で実践すべきである。

これについてクレックナー大臣は、各州の管轄機関に何度も要請している。

脆弱なグループへの焦点化を強化

今後さらに特別な支援が必要な脆弱な国民グループに、支援を強化すべきであり、そして注目されるべきである。これは健康で持続的な栄養の専門知識の伝達も、より多くの運動も該当する。ここで関連団体と研究機関並びに各州、地方自治体との共同活動が強化される。

コロナパンデミックに条件づけられた挑戦

接触制限、ロックダウン、在宅ワーク、在宅スクールのようなパンデミックによる影響阻止のための対策は、多くの人々の栄養一運動行動を変化させている。この変化は IN FORM 一政策策定に際して配慮される。強度な体重過多または既存疾患のためにコロナ 19 で重症となる、より危険性の高い人々にとって、健康奨励と予防がなおさら大きく意義を増している。

デジタル技術を活用

栄養情報の発信とネットワーク形成改善のために、デジタル化の可能性をさらに強化する。

背 景：

連邦政府は、栄養の欠如、運動不足、体重過多の予防のために、病気との関連でもって既に 2008 年に IN FORM 国内行動プランで、健全な栄養とより多く運動の日常生活への取り入れを、呼びかけている。この目標は、ドイツにおける栄養一運動行動を持続的に改善することを、追求している。連邦政府は、この行動プランをこれまでも強化しており、さらなるアプローチのために目下補強している。特にこの行動プランは、消費者の変化するコミュニケーション一生活習慣を考慮している。

2 連邦農業省・連邦文化省：両省共同で農業博物館の奨励を強化

ー 2021 年度の奨励金額を 400 万ユーロに倍化ー (2021・6・10)

大きな要望のために：連邦農業大臣クレクナーは、連邦文化省（BKM）大臣 モニカ ブリュッターとともに、共同プログラムに 200 万ユーロ（約 2 億 4 000 万円）から 400 万ユーロ（約 4 億 8 000 万円）に倍化した。4 月初めにクレクナー大臣とブリュッター大臣が、農業博物館奨励のための「2021 故郷博物館緊急支援プログラム」を拡大した。

圧倒的な共鳴をもって：5月31日までに200万ユーロ以上の申請額でもって、80の申請書が受理されている。本来計画している200万ユーロの代わりに、今連邦省の予算から400万ユーロを準備している。

連邦食料・農業大臣クレックナー：”我々は将来プログラムでもって、正確にニーズに対応したことを、非常に喜んでいる。なぜならば、農業博物館のこの額は、農業者の仕事についてより多くの価値評価への投資である。これは、博物館に対して心血を注いで参加しているところの、農村地域の多くのボランティアへの支援と認知である。同時に必要な文化的提供を生み出し、そして現地の人々のアイデンティティを創り出す。このため、私は我々の奨励を倍化したことに、非常に喜んでいる。より良い方向に向けての資金である。”

連邦文化省大臣モニカブリュッター：”我々両省の農村博物館奨励のための共同は、ドイツの全ての農村地域における「同価値な生活関係」のための、努力に向けた強いシグナルである。私の同僚大臣クレックナーによって、今財源が著しく増額されたことを喜んでいる。その際、農業と文化はより強く結びついている。農村地域において長年にわたって成果を挙げている連邦文化省（BKM）一奨励プログラムはさらに強化される。農村地域において小さな多くの展示ハウスが、多くのボランティアによって運営されており、そして農村でのアイデンティティを創出する、文化の場所として保持されそして強化される。”

プログラムのために：農業、食料生産、栄養、園芸、ぶどう栽培または漁業を重点テーマとした地域の博物館は、50 000ユーロ（約600万円）でもって奨励される。さらに次の支援を受けられる。

法人：ドイツ考古学協会（DVA）並びに連邦農業省ウェブサイト

背景：

連邦文化メディア委員と連邦食料・農業省は、2021年3月1日に「2021農業博物館と故郷博物館緊急支援プログラム」において、ドイツ考古学協会と農業博物館プログラムの共同実行のための、専門分野協定書に署名した。この協定は今、連邦食料・農業省がこれまでの200万ユーロの代わりに400万ユーロでもって、農業博物館へのプログラムの一部に投資することに対応している。連邦文化省は、2021年から250万ユーロ（約3億円）でもって、「故郷博物館」に対する奨励プログラムの一部を支援している。

そしてこれは、2021年も150万ユーロ（約1億8000万円）でもって継続される。この事業への応募は、2021年3月1日から可能になっている。

連邦食料・農業省の農村発展連邦プログラム（BULE）からの財源である、プログラム「農村地域の文化」における故郷—農業博物館の総奨励額は、2020年から2022年の財政年度において、総額800万ユーロ（約9億6000万円）となっている。

3 クレックナー大臣：コロナによる農業機械導入事業の遅れを認可

—奨励事業における農業機械納入期限の延長申請を可能に—（2021・6・7）

コロナパンデミックの影響を受けて、農業機械の販売業者または製造者の機械の納入期限延長と代替え機械選択の可能性を拡大する。

連邦食料・農業大臣クレックナーは、農業への投資プログラムの分野における、農業機械の納入期限を延長し、そして選択肢を拡大する。連邦大臣は、昨年強化しているこのプログラムの10億ユーロ（約1200億円）のスタートでもって、農業の近代化推進を開始した。

近代的な技術奨励でもって、特に農薬または肥料の適切な散布のために、他方においては採算性と収量確保の上での、気象—環境保護を組み合わせる。しかし、コロナパンデミックの拡大のために、現在機械と設備の製造者の生産能力と納入力に阻害されている。これによって計画されている期限の認可内での納入は、必ずしも保証されていない。

クレックナー大臣は、この結果に対応して納入期限を2021年12月1日を越えて、2022年1月まで納入期限の延長申請を可能とした。このため、申請は2021年8月1日から農業年金銀行に提出できる。納入困難の証明として、機械納入者（機械販売店または製造業者）の認可されている奨励状況が、期限までに実現できない証明を添付する。

農業者のためのさらなる緩和措置は、補助金受給者が納入期限の困難が証明された場合、同時に同じカテゴリー（分野）の他の奨励対象機械と、交換可能となった。新しい奨励対象が既に最初の申請時に、ポジティブリスト（原則として出来ないが、例外的に認可される機械のリスト）に記載されていること。

クレクナー大臣は、この規定を緩める。同時に多くの農業経営が、気象保護の意味において、奨励から利益を得ることについて可能とする。同じカテゴリーの機械もまたすぐに奨励され得る。このため、納入困難な証明を、変更申請に添付しなければならない。

4 クレクナー大臣：新しい共通農業政策（GAP）の妥協が可能 —有機農業の普及割合を25%に目標に— (2021・6・15)

非公式—農業理事会は、新しい共通農業政策に関する交渉において、妥協のための懸け橋を築くことについて、EU—委員会に要請した。理事会は来週に合意したいとしている。食料システムの将来のための意見交換を行った。

リスボンにおける非公式—農業理事会は、今日（6月15日）EUの各国農業大臣が次のことを確認した。来週新しいGAPのための三者会合で決定する状況にある。加盟国において非常に異なった農業構造と条件にも拘わらず、本質的な課題に動きがある。合意のための良き基盤は、有機農業の普及割合25%である。連邦食料・農業大臣クレクナーは強調した：“このことは合意の提案にみられる。理事会は20%に決定した（ヨーロッパ議会は30%）。我々は25%で調整している。そして我々の国内法は、先週この数値で先行している。これは正しい道である。”

理事会はEU—委員会に理事会とEU議会の間の調整者として、公平な役割を要請した。このことはこれまで充分とはいえないが、これまで議論されてない観点が、法的基礎の部分になかったことから、負担となっていた。

クレクナー大臣：どのような党派または国からきても同じように、チイムマンス委員が、誠実な仲介者として委員会における彼の行動でもって、EU—委員会の信頼を脅かす印象をもっている。EU—委員会が農業理事会とヨーロッパ議会に自らの役割を立法者として留意するとき、我々は一致し、そして良き措置とする。それ故に建設的に問題を解決し、共同で取り組む。このため、私は自らの立場を今強くアピールする。三者会議が迅速にそして効果を得て、終了することに貢献する。加盟国はこれを準備する。これはリスボンの明確なシグナルである。”

食料システムの将来

非公式一農業理事会で、EU 一各国農業大臣は、食料システムの将来についても意見交換を行った。この課題は自然資源の保護でもって、共同でより良くもたらす食料確保の目的である。

クレックナー大臣：“我々が生産性と持続性を、より強く結び付けたい場合、我々は農業者に適切な手段（ツール）を手にさせねばならない。つまり、新しい技術、新しい品種を。その際、それは肥料と農薬投入を減らすために、デジタル利用が助ける。しかし、我々は科学的な基礎と、より多くの透明性もまた必要とする。これは害虫と天候変動に対して、抵抗力をもった作物種を創り出すために、将来性のある育種の手法のためである。勿論、常に事前防護の原則保持のもとに。”

5 連邦学校コンクール「果物と野菜・自然のカラフルな宝箱」の表彰

(2021・6・8)

2022-/21 学校年における連邦学校コンクール「果物と野菜・自然のカラフルな宝箱」は、「リンゴ、ニンジンそして Co.のために全てを変える」をモットーに実施された。そして今、受賞者はデジタル表彰式で価値を評価される。

国連は 2021 年を果物と野菜の国際年に宣言した。これに対応して我々の学校コンクールは、「果物と野菜・自然のカラフルな宝箱」のもとに開催された。

このコンクールには、約 1 800 人の子供達と青少年が参加した。彼らは短編映画、ウェブサイト、アプリ、創意性のある絵画一手芸品を提案した。そして審査員の選考を悩ませた。

クレックナー大臣：デジタルでの賞授与で第 1 位の座を占めた受賞者のための伝統的なベルリン旅行は、残念ながら昨年と同じくコロナパンデミックのために、実施できない。

受賞者：

9 人の審査委員会は、400 余のアイデア豊かなプロジェクトの中から以下の受賞者を選定した。

年代層グループ I クラス 3-4 年: LVR ゲリカス学校 (デュッセルドルフ)

のクラス 3-4c(聴覚とコミュニケーションに焦点をあてた特別な学校)

手話による説明映画 (ノルトラインーヴェストファーレン州)

年代層グループⅡクラス 5~6年：ヘルダー学校の 6a のクラスの生徒（ギーゼン）本物の果物と野菜のテーマでウェブサイトで（ヘッセン州）

年代層グループⅢクラス 7~8年：ヴァイトシェーネハイム ギムナジュームの 7b クラスの生徒（バイエルン州） 自然からのカラフルな宝箱—果物と野菜のテーマをウェブサイトでもって。

年代層グループⅣ クラス 9~10年：ヨハン ミヒャエルザイラーギムナジュームの 10b の生徒と学習アプリ 果物と野菜の軌跡—ビタミン探偵（バイエルン州）

特別研究賞

昨年のように特別研究賞を授与する。以下の内容で取組んだ。

- ー エルランゲン（バイエルン州）のテネローエ基礎学校（小学校）
学校ラジオ 「なぜトマトは赤くなるのか？」
- ー エーゼンス（ニーダーザクセン州）の全寮制ジムナジュームの自然科学ワーキンググループのプロジェクト「りんごは同じでない。我々は選択肢をもっている」
- ー ハンブルグのオルデンフェルトス ギムナジュームの 8 b クラスの生徒
「将来を指向した果物—野菜栽培のためのアイデアと企画」
- ー クークス（ニーダーザクセン州）の自由ウエルドルフ学校クラス 9 の生徒
プロジェクト「私の自給—庭園」

学校特別賞

この賞は今年も 4 校が授与された。

- ー バートケーニツヒ/ツエル（ヘッセン州）のヴァルトバッハ学校
- ー エルツ（ヘッセン州）のエルレンバッハ学校
- ー フュステンフェルトルック（バイエルン州）クラーフ ラッソウギムンジューム
- ー ラインラフェン・リアルシューレ・プラス& FOS ヴェルシュタット（ラインラント プファルツ州）

賞 金

年代層グループにおける第 1 位は、金のトロフィー並びに 3 000 ユーロ（約 36 万円）授与される。年代層の 2-3 位は、銀ないし銅のトロフィーと賞金 1 000 ユーロ（約 12 万円）と 750 ユーロ（約 9 万円）を手にする。4~5 位並びに研究特別賞と学校特別賞も賞金を手にする。

6 アフリカ豚コレラ：防護柵設置の資金調達モデルに各州が合意

—約 900 万ユーロ（約 10 億 8000 万円の助成が可能）—（2021・6・13）

各州の農業大臣は、農業大臣会議（AMK）においてアフリカ豚コレラ（ASP アフリカ豚熱）拡大阻止のための「野生動物保護柵」設置に係る、資金調達モデルに合意した。

連邦食料・農業大臣クレックナーは、各州のこの融資方法を歓迎した。”これは ASP をさらに拡大させず、そしてこの感染症をできるだけ早く根絶するという、連邦と各州の共同目的である。同時にそれぞれの防護対策は、我々全ての利益である。そのため、設置経費に関する新しいモデルについて、全ての州が参画することは正しいことである。”

ヨーロッパ委員会もまたこれを支援する：連邦大臣クレックナーは、防護柵対策の協調融資について、成功することができたと述べた。約 900 万ユーロ（約 10 億 8000 万円）の資金援助が可能となった。6 月 30 日までにブランデンブルグ州とザクセン州は、連邦農業省を通じて EU 委員会に、これの支払い要請書を提出する。クレックナー大臣は、新しいモデルについてヨーロッパ委員会を通じた融資のための、重要な補助であることを強調した。

背景：

各州消費者保護活動協会（LAU）は、農業大臣会議の 2020 年秋の要請で、ASP 防止分野における野生動物保護策のための適切な協調融資モデルの可能性を審査される。モデルの中核は、ケーニッヒシュタイナーキー（訳注・各州への助成金配分の際の配分方式）と結びついた、各州における豚飼育数の割合のパラメーター（変数）との組合せによって経費が配分される。

2021・6・19 訳
青森中央学院大学
中川 一徹